

核兵器なくせの声を 世界に広げて



終末時計は残り100秒！

アメリカの原子力科学者会報が、人類（世界、地球）の終末（破滅）を示す終末時計が昨年より20秒も縮まった、と発表しました。核の拡散、気候変動への対応の遅れ、フェイク（偽）情報の拡散が理由に挙げられています。もともとは核兵器による危機を出発としていましたが、それ以外の要素も加味されるようになりました。破滅への残り時間が少なくなっているという警告ですから、なおのこと核兵器禁止条約の締結に向け世論を高めていかなければなりません。

国連の条約として成立するという事は、確実に核保有国の手を縛る働きをします。それだけに核保有国の妨害も大きくなっています。核兵器禁止条約ができて保有国が賛成しなければ無理じゃない？という無力感を広げることも妨害の一つです。終末時計を逆戻りさせる方法を手放さないで、被爆の実相を訴えて核兵器なくせの声を広げていきましょう。

くらしの委員会 委員長 佐々木 秀之

北医療生協では
核兵器廃絶をめざし、
「ヒバクシャ署名」に
とりこんでいます。

署名に際しては、北医療生協の病院・診療所・事業所に設置してあるものを活用していただくか、お近くの支部運営委員にお声かけください。

**被爆者は
核兵器廃絶を心から求めます**

国際署名にご協力

ヒバクシャ国際署名キャンペーン

〒113-8464 東京都文京区湯島4-4-4 平和記念センター1F
日本原水協 受付 Tel.03-5842-0311 <http://www.andasen.org/>